

いゅうがく館だより

令和2年 2月号



年度末に向けて、何かと慌ただしい季節がやってきました。
風邪やインフルエンザなどには十分に気を付けて、元気に乗り切りたいですね。

生涯学習講座についてのお知らせ

来月から、令和2年度の生涯学習講座の受付が始まります。
新しく何か始めたい方、「以前にも受講していたけれど、
さらにレベルアップを図りたい」という方も大歓迎です！
ぜひ興味ある講座にお申込みください。

令和2年度の生涯学習講座の受講申込み受付は、
令和2年3月2日(月)～3月20日(金)までです。

受講を希望される方は
申込用紙に受講料を添えて
りゅうがく館事務室まで
ご持参ください。
皆様のお申込みを
お待ちしております！



おねがい

本を日当たりの良い場所に置いておくと、
日焼けして表紙の色が褪せたり、紙の色が
茶色くなってしまいます。本の保管場所には
日光の届かない場所をお選びくださいますよう、
お願いいたします。



～ 新着図書案内 ～

《一般書》

- 『西郷菊次郎と台湾』(佐野 幸夫/南日本新聞開発センター)
- 『ダース・ヴェイダーとルーク(4才)』(ジェフリー・ブラウン/辰巳出版)
- 『元・保護猫と世界一幸せに暮らす方法』(白岩 千鶴子/主婦の友社)
- 『ぬくもり雑貨いっばいのロシアへ』(花井 景子/イカロス出版)
- 『クジラアタマの王様』(伊坂 幸太郎/NHK 出版)
- 『安楽死を遂げるまで』(宮下 洋一/小学館)
- 『絵解き ネットワーク超入門』(増田 若奈/技術評論社)
- 『ストウブマスターブック』(サルボ 恭子/学研プラス)
- 『音に聞く』(高尾 長良/文藝春秋) **他、合計 40 冊**

《児童書》

- 『十二支のはじまり』(谷 真介/佼成出版社)
- 『ドクルジン』(ミロコ マチコ/亜紀書房)
- 『たちねぶたくん』(中川 ひろたか/角川学芸出版)
- 『マイク・デービス』(サンドウィッチマン/岩崎書店)
- 『なんだろうなんだろう』(ヨシタケ シンスケ/光村図書出版)
- 『願いがかなうふしぎな日記』(本田 有明/PHP 研究所)
- 『チトくんとにぎやかないちば』(アティヌーケ/徳間書店)
- 『100年たったら』(石井 睦美/アリス館)
- 『フクイリュウ』(たかし よいち/理論社) **他、合計 40 冊**



今月のおすすめ本

《一般書》

『「任侠」シリーズ』(今野 敏/中央公論新社)

日村誠司が代貸を務める阿岐本組は、ちっぽけながら独立独歩、今時珍しく任侠と人情を重んじる正統派のヤクザだ。そんな組を率いる阿岐本は度胸も人望も申し分のない頼れる組長だが、文化的事業に目がなく、倒産寸前の出版社の経営や潰れかけた私立高校の運営を引き受けては舞い上がっている。癖の強い登場人物たちに頭を抱えながらも立て直しに奔走する日村だが、次から次へと再建話を持ち込むオヤジに振り回されて胃が痛い毎日を送る。個性豊かな子分たちの活躍も爽快な、笑いあり涙ありの人気シリーズだ。



《児童書》

『女王さまがおまちかね』(菅野 雪虫/ポプラ社)

世界中から本が消えたら、どうする!? 「女王さま」という怪人物が世界中の人気作家さんを誘拐(?)し、面白いお話の新作が出なくなるという事件が大発生! 本が大好きな小学生のゆいは、女王さまと対決するために「ある世界」へ乗り込みますが、そこで出会った「女王さま」は意外な悩みを抱えていて…。本嫌いの荒太と頭脳派の現という友人たちも巻き込んで、ゆいは世界を救えるのか? 「本を読むのは好きだけど、感想文を書くのは苦手」という全ての子どもたちに贈る、ドキドキがいっぱいの冒険ファンタジーです。

